



協和

足利市立協和中学校長 中村 徳幸



※右上のQRコードから「協和中学校ホームページ」をご覧ください。

「個別最適な学び」の実現に向けて

～ 児童生徒1人1台端末とタブレットドリル、

Google Workspace for Education の活用をとおして ～

文部科学省が進める「GIGA スクール構想」のもと、児童生徒1人1台端末と高速ネットワーク環境が整備されました。これからの Society5.0 (超スマート社会)時代の教育では、ICT環境を有効に活用し、「誰一人取り残さない、個別最適な学び」を実現し、子どもたち一人一人の学びの質を深めることが求められています。

そこで、本校では、中学校におけるICTを活用した「個別最適な学び」を実現するためにはどのような指導が必要であるかを検討し、中学校での指導実践を通して、その有効性と課題を考察するとともに、それらをもとに「個別最適な学び」を実現するための指導モデルを開発することを目的に研究を進めています。



整備された端末 Chromebook

「個別最適な学び」は単に教室で子どもが1人1台の端末を使って何をするかということだけではありません。コロナ禍における学校休業中や分散登校の際の学びの保証、過去までさかのぼって自主学習を進めたい生徒等に対しても、一人一人のニーズに応えていこうとするものです。もっと広い意味で捉えたいうえで本研究を進めようとしています。

(1) タブレットドリル『ジャストスマイルネクストドリル』の活用

公益財団法人日本教育公務員弘済会栃木支部からいただいた研究学校助成金を活用し、9/1より導入することができました。その特徴や活用場面は以下のとおりです。

【特徴】

- ・学校、家庭での学習で活用できるクラウド型の学習ドリル
- ・小学1年生から中学3年生までの9カ年、9教科の豊富な教材を搭載
- ・手書きでの解答を自動採点（立式や筆算も手書きで記録できる）
- ・学習記録はもちろん、生徒一人一人に適した問題を出し分ける機能を搭載
- ・生徒が自分のペースでドリル学習に取り組めることに加え、クラス全体のつまづきを可視化することで、個別指導を必要としている子どもが把握できる

【活用場面】

- ・朝 学 習・・・自動採点されるので、短時間でも集中して解き進められる
- ・授 業 中・・・最初に前時のおさらい、最後に本時の学習内容の定着を図れる
- ・休み時間・・・解き終えていない、全問正解していない問題に挑戦できる
- ・放課後学習・・・新たに学習した小単元の復習や、苦手な小単元を克服できる
- ・家庭学習・・・先生が指定した小単元の学習を進められる

過去にやり残した学習内容までさかのぼって自主学習できる

(2) 『Google Workspace for Education』の活用

足利市では、Google社のグループウェアのアカウントを全児童生徒に配布しています。このアカウントは小学校1年生から同じものを引き継いで活用していきます。

Google Workspace for Educationには、文書作成、表計算、プレゼンだけでなく、Google Meet、Google フォーム、Jamboard などいろいろなサービスが用意されています。サービスの一つである Google Classroom では、授業での課題や教材の配布・提出をすることができます。コロナ禍だけでなく、台風や雪による休校や自宅待機等での家庭学習等の際にも活用することができます。

【特 徴】

- ・ Google Meet・・・教師と生徒がリアルタイムで連絡を取り合うことができる
(学校休業、分散登校等におけるリモートでの健康観察、授業実践等も可能)
- ・ Google フォーム・・・確認テスト、アンケートの実施と採点・集計が簡単にできる
- ・ Jamboard・・・ブレインストームやディスカッションを行うことができる
(リアルタイムで画像を書き込んだり追加したりしてアイデアを共有)

【活用場面】

Google フォームを活用した実践事例を紹介します。授業の最後に、本時の目標に沿った簡単な確認テストを実施し、生徒が自分の目標到達度を確認できるようにする。

《確認テスト出題の具体的な流れ》

- ① google フォームでテスト付きの課題（確認テスト）を作成する。
- ② 生徒に課題を出す。
- ③ 生徒が課題の解答を送信する。
- ④ 生徒が課題の正解を確認する。
- ⑤ 大型提示装置で結果を共有する。《正解率や誤答を共有》

ココが凄い!!

- ・ 回収、返却が簡単にできます。事前に正解を登録しておけば、採点は自動。生徒は、提出した課題をいつでも参照できます。
- ・ google フォームが各設問の正答率などを分析してくれます。
- ・ 表計算シートに生徒の解答一覧を作成できます。

(3) タブレットドリルと google フォームのコラボによる『朝学テスト』の実施

今月より、週1回程度、国語・数学・英語の基礎的な朝学テストを実施し、学習習慣の定着と基礎学力の向上に努めます。

【出題方法】

テスト範囲（タブレットドリル内の単元）に合わせ、自主学習を進めます。その範囲の中から朝学テストの問題が出題されます。定期テストにも出題されます。

【受験方法】

- ・ 英語の『英単語』については、解答を解答用紙に記述
- ・ 国語の『言葉の学習』、数学の『計算』、英語の『英熟語、英文法』については、生徒1人1台端末を使用し、解答を google フォーム にキーボード入力

【採 点】

国語の漢字『書く』と英語の『英単語』については 自己採点。その他のテストについては google フォームの機能を活用した 自動採点。

※ 様々な活動をとおして、タブレットドリルや Google Workspace for Education の有効性と課題を考察し、それらをもとに「個別最適な学び」を実現するための指導モデルを開発してまいります。